



参考資料3.
TICADIVに向けて

我が国の対アフリカ外交の意義



国際社会全体の課題に対する貢献

- 国際社会の責任ある一員としての行動
アフリカ開発問題への積極的な対応を通じ、国際社会における信頼を獲得。
- アフリカが国際社会の不安定要因となることを防止
難民、感染症、犯罪・テロ等の拡散を防止。
- アフリカ開発がWTO交渉でも鍵
ドーハ開発ラウンドの成功のためには、最も開発が遅れているアフリカへの対応が鍵。

我が国の外交基盤の強化

- アフリカ53カ国との関係緊密化により我が国への支持基盤を強化・拡大
我が国の外交政策遂行の円滑化。我が国にとって望ましい国際ルールの実現。
各種選挙を通じた国際機関における責任ある地位の獲得。

我が国とアフリカの経済関係発展の可能性

- 資源の宝庫と潜在的市場であるアフリカを巡る国際的競争
資源確保を目的として欧米、アジア(中国、ASEAN)が、アフリカへ進出。
EU、米、中国は、南アや北アフリカ諸国などとのFTA締結に向けた動きを活発化。
我が国としても、長期的展望の下、アフリカにおける経済的利益の確保が重要。

TICADIVに向けて



現状認識

(肯定的な兆し)

- アフリカの自助努力を通ずる平和の定着及び、民主化の進展、一層の安定
- アフリカ全体として有望な経済見通し

(課題)

- 貧困、食糧不足、HIV／エイズ、結核、マラリア等の感染症などは依然深刻な問題
- 環境問題及び気候変動への対処は新たな課題
- 圧倒的に若年人口が多い人口構成は、多くのアフリカ諸国にとって大きな困難(同時に利点にもなり得る)
- 幾つかの国・地域では、政治的安定、人権、民主化・民主的統治の面で問題が残存

(オーナーシップの進化とパートナーシップの拡大)

- AU(アフリカ連合)/NEPAD(アフリカ開発のための新パートナーシップ)及びRECs(地域経済共同体)の役割及びイニシアティブの重要性増大
- 国際社会におけるアフリカ及びアフリカ開発への関心はかつてないレベルにまで高揚(新興ドナー諸国、民間セクター、主要な財団等の関与を含む)

TICADIV(第四回アフリカ開発会議)

●2008年5月28-30日に横浜で開催予定。



基本メッセージ

「元気なアフリカを目指して: 希望と機会の大陸」

TICAD IVの重点事項

●成長の加速化

現在好調であるアフリカの経済成長を持続的にかつ貧困者をも幅広く裨益するものとするための支援を強化（貿易投資、インフラ整備、農業の各分野を含む）

●「人間の安全保障」の確立

- MDGs達成支援
- 平和の定着、民主化支援強化等

●環境・気候変動問題への対処

アフリカは気候変動に最も脆弱な大陸: 環境、特に気候変動への適応問題への取組を支援し、成長への障害を除去



国際社会の知恵と資金を結集

●横断的要素

- AU/NEPAD、地域経済共同体及び(新興ドナーを含む)二国間・多国間ドナーとの連携強化
- アジアの経験の活用: 南南協力、三角協力作りわけアジア・アフリカ協力及びアフリカ内協力の支援
- 人的資源開発、統治能力向上、コミュニティ能力強化
- アフリカ諸国の多様性: 各国別の対応が必要
- ガバナンス改善と法の支配促進支援
- 民間セクター、財団、市民社会団体との連携

(参考)



TICAD IVに向けての流れ

2003 第三回アフリカ開発会議(9/29-10/1 東京)

- 2004 TICAD アジア・アフリカ貿易投資会議(11/1-2 東京)
- 2006 TICAD 平和の定着会議(2/17-18 アディス・アベバ)

2007

- 2月12-14日 第四回アフリカ・アジア・ビジネス・フォーラム(ダル・エス・サラーム)
- 3月22-23日 TICAD 持続可能な開発のための環境とエネルギー閣僚会議(ナイロビ)
- 26-27日 G8 開発大臣会合 (ベルリン)
- 5月30日 G8 外相会合 (ポツダム)
- 6月6-8日 G8 ハイリゲンダム首脳会合
- 7月1-3日 AU総会(アクラ)
- 10月30-31日 TICAD IV 地域準備会合(ルサカ)
- 11月21-22日 TICAD IV 地域準備会合(チュニス)

2008

- 1月31日-2月2日 AU総会
- 3月後半 TICAD IV 閣僚級準備会合(リーブルビル)
- 4月5-6日 G8 開発大臣会合
- 5月28-30日 第四回アフリカ開発会議 (野口英世アフリカ賞第一回授賞式)**
- 6月26-27日 G8 外相会合
- 7月7-9日 G8 北海道洞爺湖サミット